

小児科 *Pediatrics*

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 山本 英一(小児医療センター長、医療安全管理部長)
1990年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児循環器、小児救急、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、日本小児循環器学会小児循環器専門医、日本小児救急医学会小児救急スペシャルインタレストメンバー、日本子ども虐待医学会BEAMS認定講師、厚生労働省臨床研修指導医
- 中野 直子(主任部長、小児医療センター副センター長)
1994年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児免疫疾患、自己炎症疾患、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 森谷 友造(部長)
2003年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児循環器、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、日本小児循環器学会小児循環器専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 永井 功造(部長)
2003年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児血液・腫瘍、小児がん全般に対する化学療法、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、日本血液学会血液専門医・血液指導医、日本小児血液・がん学会小児血液・がん専門医・小児血液・がん指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 河邊 美香(部長)
2007年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児神経、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 越智 史博(部長)
2007年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児感染症、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、日本感染症学会感染症専門医、日本小児感染症学会小児感染症認定医・小児感染症認定指導医(専門医)、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、厚生労働省臨床研修指導医
- 田代 良(部長)
2008年東京医科歯科大学卒
専門分野:小児循環器、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 吉田 安友子(医長)
2013年愛媛大学医学部卒
専門分野:小児アレルギー、小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、厚生労働省臨床研修指導医
- 中村 亮太(医長)
2016年大分大学医学部卒
専門分野:小児一般・保健
資格:日本小児科学会小児科専門医、厚生労働省臨床研修指導

医

- 澤田 鮎美(専攻医)
2022年自治医科大学卒
専門分野:新生児集中治療
- 江口 真理子(診療委託)
- 元木 崇裕(診療委託)
- 平井 洋生(診療委託)
- 地行 健二(診療委託)
- 宇都宮 秀和(診療委託)
- 長谷 幸治(診療委託)
- 千阪 俊行(診療委託)
- 渡部 竜助(診療委託)
- 前澤 身江子(診療委託)
- 柏木 孝介(診療委託)
- 小西 恭子(診療委託)
- 小泉 宗光(診療委託)
- 石田 也寸志(診療委託)

2. 実績

■ 疾病分類別入院患者数

疾患名	患者数
呼吸器(RSを含む)	135
けいれん、神経	89
感染症	83
膠原病、自己炎症性疾患	67
消化器(胃腸炎、腸炎、腸重積含む)	43
血液腫瘍	40
気管支喘息	72
循環器	74
腎臓(尿路感染含む)	33
代謝内分泌	15
アレルギー	29
事故、虐待	13
外科系	20
COVID-19	8
その他	12
合計	733

■ 16歳未満の救急搬送患者数

	患者数
救急車、ヘリ、ドクターカーでの来院患者数(全科)	469
三次救急での来院患者数	44
小児科患者数	419
入院した患者数(全科)	181
小児科入院患者数	148

3. 2026 年度目標

(1) 連携の強化と専門性の向上

当院には、入院が必要な患者さんや高度な判断を要する患者さんをご紹介いただいております。私たちは、最新の標準的な診断・治療を丁寧に検討し、ご紹介いただいた先生方が満足できる診断・治療結果を提供できるよう努めてまいります。退院後も積極的に逆紹介を行い、医療機関間の連携を深め、より高度で専門的な医療サービスの提供を目指します。また、コロナ禍で開催できなかった開業医の先生方との症例検討会や勉強会を再開し、情報交換の場を設けていきたいと考えています。

(2) 救急の適正化

働き方改革の導入後、小児救急体制においても同様の課題が生じております。一方で、救急受診患者数は増加しており、さらに転帰が不良の三次の患者に対する対応を常時必要としており、限られたマンパワーの中で医療の安全性と質を確保した救急体制の構築を目指しています。そのために、高度・専門的な医療を提供し、愛媛県の小児医療の最後の砦となるべく、他院や他科の小児チームと連携し、各役割を十分に果たせる体制づくりに努めてまいります。

(3) 療育

当院には NICU を併設しており、他の医療機関からの救急医療を必要とする医療的ケア児を含め、多様な療育支援が必要な子どもたちがいます。これらの子どもたちの数は年々増加しており、今後もより良い療育支援へとつなげていくための仕組みづくりを進めていく所存です。

(4) 子ども虐待予防

子ども虐待は年々増加し、深刻な社会問題となっています。当院は救急医療機関として、被虐待児に関わる可能性も高いため、医療における子ども憲章(2022 年 3 月、日本小児科学会策定)を尊重し、早期に他施設や多職種の関係機関と連携を図りながら、子どもとご家族を支援し、虐待予防に努めてまいります。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 山本英一. 児童虐待の基礎と胎児期～ゼロ歳児からの虐待予防. 令和 6 年度伊予市子ども家庭センター職員研修会. 伊予 (2025.2)
- 森谷友造、徳本大起、吉松佳祐、友松佐和、吉田安友子、越智史博、河邊美香、永井功造、中野直子、山本英一. IVIG 不応予測スコア高リスク川崎病における併用療法時の PSL と CsA の使い分けの検討. 第 49 回近畿川崎病研究会. 大阪 (2025.3.1)
- 中村亮太. 明日からできる! 乳幼児の BLS(一次救命措置). 第 31 回日本保育保健学会 in えひめ. 松山 (2025.5.10-11)
- 山本英一. 酸素補充療法を行ってきたムコ多糖症 II 型 双胎児例の経験. ムコ多糖症 II 型に関する座談会. 松山 (2025.5)
- 小林啓輔、永井功造、亀岡潤也、友松佐和、吉田安友子、越智史博、河邊美香、森谷友造、中野直子、山本英一、近藤剛、重見律子. 慢性的嘔吐症の原因が食道びまん性平滑筋腫であった一例. 第 109 回日本小児科学会愛媛地方会. 松山 (2025.6.1)
- 中平啓倫、中野直子、徳本大起、吉松佳祐、友松佐和、吉田安友子、河邊美香、越智史博、永井功造、森谷友造、山本英一. 劇症型潰瘍性大腸炎により非感染性疝贅を生じた一例. 第 16 回 KOCs 小児リウマチ研究会. 福岡 (2025.6.7)
- 山本英一. 小児の longCOVID 患者の経験～小児科医としてどう関わっていくべきだったか～. 第 32 回日本小児心身医学会中国四国地方会. 鳥取 (2025.6.22)
- 山本英一. stage1. 医療機関向けの虐待対応啓発プログラム BEAMS. 松山 (2025.6)
- 中野直子、亀岡潤也、吉田安友子、河邊美香、越智史博、永井功造、森谷友造、山本英一. IL10RA 遺伝子のヘテロ接合体ミスセンス変異を認めた難治性肛門周囲膿瘍の男児. 第 3 回 思春期 IBD セミナー. 広島・Web 開催 (2025.6)
- 山本英一、JRAT のみなさま. 能登半島地震における JRAT(日本災害リハビリテーション支援協会)の経験小児救急医学会. 第 38 回日本小児救急医学

会学術集会. 東京 (2025.7.4-6)

- 中村亮太、高岡将彦、城戸貴弘、内海大輔、柳原千秋、大平純也、相原香織、小林光郎、上田晃三、西崎眞理、眞庭聡、河上早苗. 化学療法中に QT 延長症候群に伴う Torsades de Pointes を来した一例. 第 38 回日本小児救急医学会学術集会. 東京 (2025.7.4-6)
- 山本英一、森谷友造、小西恭子、千阪俊行、渡部竜助、檜垣高史. 心疾患児における災害対策～防災キャンプの経験～. 第 61 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 三重 (2025.7.10-12)
- 山本英一、安柄文、内ヶ崎西作、高橋英城、日本子ども虐待医学会 J-CARE 委員会. 「子ども虐待事例データベースへの症例登録と登録データを用いた臨床研究」医療機関を主体とした多施設共同研究プラットフォームー子ども虐待レジストリ(J-CARE)の概要ー(シンポジウム). 第 16 回日本子ども虐待医学会学術集会. 福岡 (2025.8.23-24)
- 中野直子、亀岡潤也、吉田安友子、河邊美香、越智史博、永井功造、森谷友造、山本英一. 溶連菌感染後の炎症性斜頸との鑑別に難渋した若年性特発性関節炎の女児例. 日本脊椎関節炎学会第 35 回学術集会. 長崎 (2025.8.23-24)
- 山本英一. 子どもを守るために～虐待医療の現状と課題、小児科から法医学への期待～. 第 28 回法医学画像勉強会. 松山 (2025.9.27)
- 中野直子. 小児の血管炎:疫学から治療まで(シンポジウム). 第 34 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会. 千葉 (2025.10.10-12)
- 亀岡潤也、越智史博、中村亮太、吉田安友子、河邊美香、永井功造、森谷友造、中野直子、山本英一. 集中治療を必要としたマクロライド耐性百日咳菌感染症の 2 乳児例. 第 77 回中国四国小児科学会. 香川 (2025. 10.25-26)
- 山本英一、河邊美香. 【テーマ「障がい児(者)の生活を地域で支える医療」】「障がい児(者)の暮らしを支える私たちの現状」～今の関わりから「できる」とい「な」を考える～基幹病院の立場から(シンポジウム). 第 8 回症例検討・研修会「障がい児(者)在宅ケア」. 松山 (2025.10)
- 亀岡潤也、森谷友造、中野直子、中村亮太、吉田安友子、河邊美香、越智史博、永井功造、山本英一. 川崎病治療中に再燃か?多形滲出性紅斑か?鑑別に悩んだ 1 症例. 第 19 回愛媛発達心臓病研究会. 愛媛 (2025.10)
- 山本英一. 学校における健康診断の今日的意義と課題. 文部科学省主催「第 3 回学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」. Web 開催 (2025.10)
- 山本英一. 周産期メンタルヘルスについて考えよう～小児科医の立場から～. 第 49 回良い子を産み育てる妊婦の日. 松山 (2025.11.3)
- 吉田安友子、越智史博、徳本大起、河邊美香、森谷友造、永井功造、中野直子、山本英一、市川晴久、高木大樹. Streptococcus intermedius による硬膜下膿瘍・脳膿瘍の 1 例. 第 57 回日本小児感染症学会総会・学術集会. 千葉 (2025.11.8-9)
- 澤田鮎美、越智史博、日野ひとみ、中矢隆大、田代良、竹本幸司. 愛玩犬が感染源と考えられたサルモネラ髄膜炎の乳児例. 第 57 回日本小児感染症学会総会・学術集会. 千葉 (2025.11.8-9)
- 亀岡潤也、越智史博、吉田安友子、河邊美香、永井功造、森谷友造、中野直子、山本英一、桑原こずえ、野間真衣子、菊池知耶. Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis による Streptococcal toxic shock syndrome (STSS) の 1 例. 第 57 回小児感染症学会総会・学術集会. 千葉 (2025.11.8-9)
- 永井功造、五十嵐敬太、吉田奈央、片山紗乙莉、植村優、鷺尾佳奈、高橋義行、山本雅樹、佐藤真穂、宮村能子、長谷川大一郎、佐藤篤. 同種移植後の肝局性結節性過形成の長期経過 日本小児白血病研究グループ (JACLS) での検討. 第 67 回小児血液・がん学会学術集会. 福岡 (2025.11.19-21)
- 山本英一. stage1、stage2. 医療機関向けの虐待対応啓発プログラム BEAMS. 松山 (2025.11)
- 山本英一. 児童虐待ゼロを目指して. 令和 7 年度伊予市子ども家庭センター職員研修会. 伊予 (2025.11)
- 中野直子. 小児 SLE/ループス腎炎治療～成人との違い～. ルプキネス 1 周年記念講演会. 愛媛 (2025.12)

(2) 論文・著書

- 山本英一. 臨床ですぐ役立つ!診療ガイドライン・手引き・指針のポイント解説 19.画像検査時の造影剤・鎮静 小児鎮静. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 Vol.97 No.5 2025 年 04 月号(増刊号). 257-259 (2025.4)
- Moritani K, Eguchi-Ishimae M, Tezuka-Kagajo M, Miyamoto M, Iwamoto M, Kawakami S, Nakamura R, Nagai K, Tomomatsu S, Imai T, Ishida Y, Tauchi H, Ishii E, Eguchi M. Rapid Identification of DUX4::IGH Fusion in Acute Lymphoblastic Leukemia. EJHaem 6(4). e70099 (2025.7.28)
- 小山典久、井上信明、竹田津原野、種市尋由、野澤正寛、山本英一、平本龍吾、楠原浩一、濱崎孝史、竹島泰弘. 小中学校で医学的知識を教えることに対する学校教員の意見と小児科医の役割. 日本小児科学会雑誌 129 巻(7 号). 928-938 (2025.7)

4. Kawabe M, Ichikawa H, Nagai K, Ishida Y, Yamamoto E, Ohue S. Successful resection of large subependymal giant cell astrocytoma using presurgical mammalian target of rapamycin inhibitor. *Surg Neurol Int* 16(332). doi:10.25259/SN_159_2025 (2025.8.8)
5. 中野直子. 【特集】小児血管炎診療の基礎と臨床 III.各血管炎の病態と診療 結節性多発動脈炎. *小児科診療* Vol.88 No.9. 診断と治療社. 1179-1184 (2025.8.8)
6. Tomomatsu S, Nagai K, Tsuruta K, Honma Y, Kawakami S, Ochi F, Yamamoto E. Central nervous system cryptococcosis with brain stem hemorrhage during chemotherapy for pediatric acute myeloblastic leukemia patient. *J Infect Chemother* 32(1). doi:10.1016/j.jiac.2025. 102876 (2025.11.21)
7. 中村亮太. 明日からできる!乳幼児の BLS(一次救命措置). *保育と保健* 31巻(2号). 74-76 (2025)
8. 山本英一、森谷友造. 特集「正しく怖がれ,小児救急1人対応!〜ファーストタッチから専門診療へ〜」. *小児科診療* 2025年01月号 88(1). 57-64 (2025)